

## 夏鳥の繁殖は今・・・繁殖状況をご知らせください オオヨシキリに注目!!



図1 “夏鳥の危機”を伝えた本

本誌の5月号と6月号の表紙を飾った、サンコウチョウ・クロツグミはいずれも夏鳥です。長年“夏鳥の危機”状態が続いていて心配されています〔図1『夏鳥たちの歌は、今』1993年に出版された緊急レポート・三省堂刊〕。しかし、こここのところやや復調の兆しが見える鳥もいます。代表的な鳥がキビタキで、かつては高尾山などの山地に渡来する夏鳥でしたが、最近では平地林にも生息し、明治神宮ではすっかり定着したようです。また、新宿御苑や石神井公園でも囀りが響いていました。皆さんの地元の森や林ではいかがでしょうか。

都内全体では、サンコウチョウ、オオルリ、ミズゴイ、コサメビタキ、ヨタカなどもその傾向が見られます。クロツグミも観察記録が増えています。

一方、減少の一途をたどる夏鳥もアオバズク、アカシヨウビン、コアジサシなど数多くいます。身近な代表的な鳥はオオヨシキリ〔写真2〕で、彼らの生息地のヨシ原が青々と広がっているのに、“ギョギョシ・ギョギョシ”となく声が聞こえない場所が増えています。



図2 ヨシ原で歌う夏鳥・オオヨシキリ  
〔川内 博氏撮影〕

**情報募集** オオヨシキリだけでなく、夏鳥の営巣状況をお知らせください。繁殖を確認できなくても、「可能性有」でも結構です。

〔送り先〕E-mail: office@yacho-tokyo.org Fax: 03-5273-5142

〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階 日本野鳥の会東京・研究部あて

### 越冬期調査・報告3

【調査・協力者、協力団体】 ご協力ありがとうございました。

青木静子、青木秀武、浅野恵美子、浅野幸男、荒木大樹、伊倉恵子、一場香理、市橋ゆみ、井上裕由、岩崎和代、植木裕子、植田益夫、植村勝代、内田浩一、大谷恵子、大室 清、岡田浩郎、小川 潔、萩島伸介、小澤礼子、粕谷和夫、加藤岸男、門口一雄、門倉美登利、河田徳子、川内桂子、川内 博、河村洋子、菅野桂子、菊地昇、木澤隆雄、木村晴美、久保賢一、栗林菊夫、小納良一、小太刀昭夫、小太刀菊子、小林博美、坂本良子、佐藤哲郎、佐藤英夫、佐藤栄美子、杉森ユリ、清水盛通、篠崎雄彦、柴田絵里、白川司、白川史子、関谷孝、瀬戸 敦、対中義雄、高梨規子、高橋紗季子、高橋嘉明、田島基之、田中利彦、玉木雅治、登坂久雄、内藤公三、長岡信也、仲野 遵、中村后子、中山尊人、中山千晶、成井奈緒美、西村真一、沼里和幸、橋本和司、長谷川篤、長谷川典子、長谷川充弘、馬場隆進、浜野建男、浜野知恵子、平賀 甫、氷渡トシ子、福本 健、古山 隆、真下 弘、増永望美、松村茂生、丸山二三夫、三沢三紀子、三間久豊、宮越俊一、宮越リカ、武藤邦子、村田靖雄、森田公子、山浦秀雄、山崎悠一、山崎久美子、柚木育子、横島稔彦、横山由美子、吉野秀夫、吉邨隆司、渡辺昭彦、渡辺敬明、渡辺 仁、渡辺正樹、小金井自然観察会、八王子・日野カワセミ会、府中野鳥クラブ 以上102名3団体〔敬称略・五十音順〕